

東海地区俳句協会会報

第77号
令和5年3月31日
東海現代俳句協会

モナ・リザからの贈り物

西尾市在住・画家

斎藤吾朗

「ここにちは斎藤吾朗です。戦後の何もない一九四七年の生まれです。だから絵を描く事が一番幸せでした。お腹が空いていても絵を描いていれば幸せなので、家の落書きは仮壇の扉にも及びました。でも母は何時も怒らず褒めてくれ、絵を描くと喜んでくれるのできちくなつたら絵描きになりたいと思いました。

二十四万円でしたので、二十六歳の時に憧れのパリに行く事が出来ました。憧れのルーブル美術館に行って、受付のお姉さんに、モナリザを模写したいと言つたら大声で笑いだし、とても難しいことが其處で分かりました。それで副館長のところに毎日通つて、肩揉みとか浮世絵の切手をあげたり、ゴマを擦つたりです。念願叶い副館長に「デッサンを見せたら、「お前には負けたよ」って模写が許されました。一九七三年の事です。

それまで公認されたモナリザの模写は、マルクシャガールだけで、五十年間禁止されていましたね。彼の模写は第一次世界大戦時に無くなっています。だから私の模写作品は貴重品で、ルーブル美術館から大事にしてくられつて言われております。模写は原寸では描けませんので、本物より一cm大きく描きました。描く過程で気が付きましたが、モナリザはダヴィンチのお母さんじやないかと感じま



講師紹介

歴史や地元の情景と身近な人たちをモチーフに、赤を基調とした独特な絵を描く。ルーブル美術館公認にて、モナ・リザを日本人で初めて模写した経験を持つ。

実ざくろや我を流れし野性の血 松永みよ子
悼木村リュウジ
竜胆や記憶の中の傘開く なつはづき
星流る原信夫のマンボNo.5 赤野四羽
冬瓜はこの世のことを見逃さず 菊山千月
武馬久仁裕

青年部だより

■ 第五回ジャズ句会 ■ 十一月五日

藤川 夕海

父ゆきて鳴なきを短く 稲葉 千尋
まだビルが語りつづける焚火かな 山内 基成
可惜夜のコートレーンと蒼き月 岡村 知昭

四季桜あした娘は嫁げをり 三島風々海
小鳥来るもう君のこと忘れたよ 三島風々海

山内 基成

手から手へ渡すことばももみぢせり 永井江美子
窓越しの児戯声高く小春かな 旦空
横顔は風来人や芒原 ひらの浪子
2つ目の月の話ギムレット 野口 良江

岡村 知昭

髪を梳く鏡に昇る十三夜 岡田真由美

三島風々海

秋うららデューク流るるカーラジオ 松本 充裕
一つ家にジャズの流るる柿の秋 松本 充裕

岡田真由美

手から手へ渡すことばももみぢせり 永井江美子
窓越しの児戯声高く小春かな 旦空
横顔は風来人や芒原 ひらの浪子
2つ目の月の話ギムレット 野口 良江

岡田真由美

した。持ち帰った模写作品を母がとても喜び、それに拘るようにして見せて回ったんですね。それをも絵にしました。

私の絵は俳句的だと思います。中学校で俳句に接し高校時代の授業でも俳諧連句がありました。一九八六年ニューヨークで個展をさせて頂きましたが、ジャズ歌手の方から、お前の絵はジャズだと言われたので、モナリザを扫一だおばあさんのジャズを絵にしました。

俳句コンサートも開催しました。その後も各地の展示会で俳諧連句会を開催しています。

熱田神宮の宝物館に展示された絵は日本武尊が宮津姫に草薙剣を渡してからの歴史を描きました。信長城に豊臣秀吉や徳川家康、暴れん坊將軍に光圀公もいます。大正時代までのいろんな人の繋がりを絵にしました。俳句でいう取合せだと思います。俳句をやつた事で私は他の人が描けない何かを描く事が出来ました。

私の絵は「赤絵」と云われます。赤い糸という縁起の良い絵だと思っています。俳句の世界も人と人の繋がりだと思います。また何処かでご縁があるかと思いますが、命ある限り絵を描き続けたいと思います。(清聴ありがとうございました)。

■第六回ジャズ句会の「」案内

日時　十一月十一日(土)　十三～十六時
申込　tokai.gehai.seinenpou@gmail.com

永年会員、自薦句

(昭和十六年～十七年生れ)

※掲載は県別の到着順

コンクリの壁落書被いし萬紅葉
冬蝶の葉かげよりうき風となり

豊川市 雪竹 紀子

北名古屋市 安田 幸代

小川もも子

天白区 大山市

水上美智子

春日井市 ウネメダイチ

西尾市 石川 道子

上平 仁美

多気郡 伊賀市

中尾 節子

梅林の傾斜は風の抜けどころ

梅林のふの赤とけふの赤

鉄屑の山匂ひ来る闘戦日

どんど火に戦といふ字の舞上がる

伊賀市 鈴木みよ子

鳥帰る人は淋しき距離保ち

曲がるたび変わる雪嶺一輪車

四日市市 大堀 祐吉

鳥帰る人は淋しき距離保ち

マスクしてひとりひとりの孤独かな

四日市市 村田佐和子

鳥帰る人は淋しき距離保ち

春愁や振り返ること多くなり

四日市市 宮田登世恵

鳥帰る人は淋しき距離保ち

春愁や振り返ること多くなり

桑名市 中村 仿湖

鳥帰る人は淋しき距離保ち

春愁や振り返ること多くなり

四日市市 田中 裕子

鳥帰る人は淋しき距離保ち

春愁や振り返ること多くなり

四日市市 栗田 道弥

鳥帰る人は淋しき距離保ち

新年句会参加 4年度新規会員各位

新規会員、近詠句

(令和四年度後期入会者)

鉄塔の陰ほつほつと初茜
橙の葉を冠に鏡餅

昭和区 磐田 平井 利果 小

一宮市 青山 典子 繁誠

犬山市 富地

中野 等

揖斐郡 村山 温子

揖斐郡 村瀬佐智子

大垣市

水越 晴子

津市

田中 裕子

四日市市

栗田 道弥

四日市市

裕子

四日市市

道弥

四日市市

菊山 沙英

多気郡 砂都市

湯並の影絵となりし秋の暮

ペディキュアは赤冬露天湯にひとり

山並の影絵となりし秋の暮

初旅の終着点はわが家なり

伊勢市 高橋 千典

湯並の影絵となりし秋の暮

ペディキュアは赤冬露天湯にひとり

山並の影絵となりし秋の暮

初旅の終着点はわが家なり

伊勢市 高橋 千典

湯並の影絵となりし秋の暮

ペディキュアは赤冬露天湯にひとり

山並の影絵となりし秋の暮

豊川市 雪竹 紀子

赤のままこんなに咲いて子らどこへ

バードネオン奏でし人は戦場か
存へて蓬けたる幸鳥雲に

愛西市 岩佐 信子

柏手のかすかなゆらぎ初詣

湯豆腐の少し冷めたる会話かな
冬青空この世の戦忘れて

星川佐保子

昭和区 星川佐保子

湯豆腐の少し冷めたる会話かな
冬青空この世の戦忘れて

豊橋市 河邊 满江

第十八回現代俳句東海大会入選作品

令和四年十月三十日(日)

三年振り盛会裏に終了(残念ながら懇親会は中止)

✿大會賞

ひまはりや少女まつすぐ反論す

秀逸

実直な父の胡瓜の曲がりけり

小津 由美

白桃や刃先すんなり核心に

上村えつみ

時の日やアンモナイトの渦の中

金子 ユリ

十二月八日一度明りを消してみる

渡邊 淳子

図書館に指紋をのこし卒業す

星野 蘭

麦ほこり昔ここらに馬の市

小南千賀子

突き刺さるひまわり僕の空がない

大西 健司

草引くと母の背中が見えてくる

加藤由紀子

ひと口の水の重さや原爆忌

星野 蘭

就中俾せさらな金魚買ふ

大西 誠一

草引くと母の背中が見えてくる

前田 秀子



佳作

弟よ銀河の船に乗るころか

浅生圭佑子

水匂ふ青田の風を懷に

足立敏子

縁側に薬草干して冬を待つ

伊藤眞智子

一日の力抜きたる藤寝椅子

大西 誠一

秋日和記念切手を舐めて貼る

奥山 和子

嘘一つ握りつぶして夏見舞

中尾 節子

ゆたかなる貧しさのあり赤のまま

中村 正幸

白萩を活けるこの先どう生きる

横地かをる

逢ひたいと思ふ人ゐる帰省かな

いま声に出し語らねば蟬時雨

西村 郷子

踊りの輪ほど瀬音の届きけり

石川 裕子

選耳栓のひとつ失ふ夜のブール

星野 蘭

選

成木 幸彦

遠雷や確かに父の声がする

平山

選

野崎

選

胎の子が動いた蹴つたお月さま

秋晴のすべてが僕のためにある

近藤 好子

選

名古屋高校

堀内 晴斗

新蕎麦のこれが最後か飯田線

増井 康子

選

山峡の人濃くなりぬ野分あと

松末 充裕

初盆の擦つては消ゆる燐寸かな

丹羽 知子

選

野崎 妙子

ゴスペルの突きあげる手や天高し

榎原美紀子

選

星野 啓子

生きてゐる精一杯の蝉時雨

桜本 純子

選

後藤 昌治

選

図書館に指紋をのこし卒業す

小南千賀子

選

橋本 輝久

選

雜巾がきちんと干され終戦日

谷口 智子

選

永井江美子

触れ合うて狗尾草に首のなし

上村えつみ

選

中村 正幸

けものめく少年の素手盆太鼓

前田 典子

選

武馬久仁裕

入道雲に集まつてゐる少年兵

成木 幸彦

選

大西 健司

平賀 節代

選

前野 砥水

ひまはりや少女まつすぐ反論す

小津 由美

選

石川美智子

実直な父の胡瓜の曲りけり

上村えつみ

選

今井 真子

浅生圭佑子 選

突き刺さるひまわり僕の空がない

大西 健司

選

石川 美智子 選

耳栓のひとつ失ふ夜のブール

星野 蘭

耳栓のひとつ失ふ夜のブール

選

星野 蘭

稻葉 千尋 選

何故死じやいけないのでですか先生

くにたみつる

近藤 好子

大堀 祐吉 選

稻葉 千尋 選

神田ひろみ 選

扇置くころ沙色の海と空

白石喜久子

麦ほこり昔ここらに馬の市

星野 蘭

ひらの浪子 選

突き刺さるひまわり僕の空がない

大西 健司

村山 恭子 選

白桃や刃先すんなり核心に

金子 ユリ

武藤 紀子 選

弟よ銀河の舟に乗るころか

浅生圭佑子

弟よ銀河の舟に乗るころか

横地かをる

ちちら鳴きやみたる闇の深さかな

宮田かつこ

沈黙の並んでゐたラ・フランス

前野 真子

選

★全国俳誌協会第四回新人賞特別賞

青年部の後藤麻衣子さんが受賞しました

うすだいだいのクレヨンで塗る春の人

風船の破片集めて夏に入る

素足から伸びゆく少女立葵

林 和琴

横地かをる

(3)

第二十四回 東海地区現代俳句賞

♦大賞

「冬の虹」

石川美智子

奨励賞 (抄出十二句)

「風花の時間」 森本 昭子

春の雪ひかりのしづく零しつつ
風吹くたび大きくなりし黒揚羽

山桜咲きて神の座定まりぬ
鳥鳴り遙かにジェットコースター

山桜咲きて神の座定まりぬ
向日葵や爪先立ちで見る明日

法師蟬森透明になつてをり
(おおたかよこ・「青の会」会員)

山底の石の大小新樹光
御堂より見よと泰山木の花

川底の石の大小新樹光
憂鬱といふほどでなく梅雨明ける

幻覚のはざまに咲けり水中花
半島のうすうすとあり鳥渡る

遠くまで見ゆる白波暮の秋
風花の時間しづかに過ぎてゆく

獣銃と犬と山茶花そして父
(もりもどしようこ・「菜の花」同人)

生きているかすかにきしむ指の骨
風花や無言で帰る見舞客

白粥に梅干一個冬の月
白粥に梅干一個冬の月

闇硬ひりひり病みて年の夜
一族の滅び異国に凍つる墓

白粥に梅干一個冬の月
(ぼくみでいじや・「菜の花」「軸」会員)

豆の花真昼真白い告知受く
佳作 (抄出八句)

比叡から湖みはるかす若葉かな
さらしくぢら六塵の世の疊みごたへ

更けてより馴染んできたる祭下駄
唐破風の路地の錢湯蟬しぐれ

髭あたる泡の眩しき晩夏かな
いなびかり静かに速くなりし手話

背広脱ぎ兄も加はる月の宴
伊吹領の雲照り翳る稻の秋

野分晴れ矢板打ち込む頭首工
地芝居の藍隈買つて出でにけり

はだか電球屋台はみだす富有柿
自身の荷を解く一間夕紅葉

(やまうちもとなり・「韻」「鷹」同人)
佳作 (抄出八句)

萬の向日葵
度会さち子

山姥の髪ふきあげて根尾桜
神杉をかけのぼりたる藤白し

五月来る迦陵頻伽の翅に風
觀山の牡丹あかりの地獄絵図

貝殻骨美しき少年入道雲
安城市市在住。「韻」同人

身に余る賞を頂き心より感謝申し上げます。
◆いかわみちこ(昭和十九年生れ。愛知県
見えるものの陰にある見えないものを追つて、
心に響く句づくりをしたいと思つています。)

母の句ひ
太田香代子

曼珠沙華母の句ひの近くあり
風の道折れて曲つて赤蜻蛉

樽縁の冬の日差をほしいまま

さくらさくらだれのものでもなく咲きぬ
つばくらめまつしぐらなる少年期

前方後円墳途方もなき夕焼
白鳥を帰し火酒を少し飲む

(わたりいさちこ・「郭公」同人)
法師蟬森透明になつてをり

(おおたかよこ・「青の会」会員)

佳作 (抄出八句)

白むくげ
朴 美代子

豆の花真昼真白い告知受く
佳作 (抄出八句)

白むくげ
朴 美代子

木星あかし萬の向日葵縫れ
前方後円墳途方もなき夕焼

白鳥を帰し火酒を少し飲む

(わたりいさちこ・「郭公」同人)

令和四年度東海俳句賞選考経過

事務局・平賀 節代

令和四年十一月十日(木)名古屋駅前、
ウインクあいちに於いて「第二十四回東

海地区現代俳句賞」の選考委員会が開か
れた。選考委員は、会長の委託した後藤

昌治氏、橋本輝久氏、伊藤政美氏、中村

正幸氏、武馬久仁裕氏、大西健司氏、神

田ひろみ氏の七名と会長の人名。総会後

から応募を受け付け、締切りの九月十五

日までに寄せられた作品は過去最高の

三十八編、初応募が増えたことが特徴で

ある。これらの作品を無記名でコピーし、
選考委員へ郵送。予備選考を依頼し、予

選順位一位から七位をそれぞれに選出。

一位七点、二位六点、三位五点と順に配

点し集計した。

当日は五名の選考委員の参加を得た。

欠席の方々から事前に届いていた選考考

見を加え、厳正に審査が進められた。作

者を伏せて、点数の入らなかつた作品か

ら全作品を検討し、七作品を最終的に残

した。

この一句というのではないが二十句がき
ちゃんと書かれているとの評価と、唯一全

選考委員から得点を得た「冬の虹」を大

賞に決めた。また、一位票も得て得点の

高かつた「風花の時間」「蘇る」の二作品

を奨励賞に、二桁の得点を得た四作品を
佳作と決めた。

大賞
奨励賞
「冬の虹」
「風花の時間」
森本 昭子
佳作
「甦る」
山内 基成
「母の匂ひ」
太田香代子
「白むくげ」
朴 美代子
「萬の向日葵」
度会さち子
「秋の雨」
村瀬佐智子
応募される皆さんへ、選考委員から次
のような助言をもらいう。
『基本中の基本が出来てはじめて上達す
る。一句一句を丁寧に書くこと、誤字、
脱字、仮名遣いに気をつけてほしい。こ
とばの流れが整っていない、なめらかで
ないのは未熟。タイトルは作品の一部で、
タイトルが決まっていることは大切。ど
う並べるか、その作業の中でそぐわない
句も見えてくる。楽しんで二十句をまと
めてもいい。何回も挑戦してゆく中でまと
め方も解ってくる。応募することが勉強
になります。』
来年多くの作品が寄せられることを
期待します。

第一十七回新年俳句大会受賞作品

令和五年一月十九日（日）於ける名古屋駅前ウインクあいち

東海地区現代俳句協会

第一回新年俳句大会受賞作品

令和五年二月十九日（日）於ける名古屋駅前ウインクあいち

会長賞

鮫鱗をつつく不発弾かもしぬれず

村山 恭子

秀逸賞

向井 泰子

草の花いつもどこかが揺れている

岩田 典子

手紙ならやさしくなれる窓に雪

原しようこ

一冊を抜きし書棚の冷え始む

伊藤 政美

枯木星街に心のクリニック

星野 蘭

喪服とは裏まで黒し冬立つ日

木村 晴代

行くあてのなき者入れて芒原

伊藤 昌子

冬の蚊も叩けぬ人となりにけり

長坂 敏彦

釣れる人釣れない人も燐日和

山本 浩子

冠雪の伊吹や太き大根引く

田中 玲子

よく枯れて憂さを捨つるに良き野かな

犬飼 孝昌

死ぬるまで生きねばならず大根煮る

千両も万両もある売家かな

千両も万両もある売家かな

佳作

冬の月女阿修羅になることも

森本 昭子

絶食の後の白粥日脚伸ぶ

星野 蘭

風も日も伊良湖芋切り干し日和

杉村 克代

正しいと信じ切つたる懐手

寺田 豊

着膨れてなかなか出ない本音かな

川合いつ子

屑箱の底を叩いて年の暮

中尾 節子

抽斗の何かが詰まる十二月

八木茂都子

そつと肩に触れることが寒見舞

宮田かつこ

蜂蜜のびんを逆さに寒の入り

渡邊 淳子

竹馬の少年父を見下ろせり

東海 憲治

橋本 輝久 特選

千両も万両もある売家かな

山本 浩子

伊藤 政美 特選

竹馬の少年父を見下ろせ

東海 憲治

永井江美子 特選

草の花いつもどこかが揺れてゐる

向井 泰子

成木 幸彦 特選

猫の手も借りたい師走猫のゐて

藤森 貞子

ひらの浪子 特選

今井 真子

噴く飯の湯気の向ふの戦かな

今井 真子

武藤 紀子 特選

手紙ならやさしくなれる窓に雪

岩田 典子

横地かをる 特選

戦争の新聞記事に葱つづむ

小南千賀子

今井 真子 特選

雪螢郡上一揆の碑裏發つ

岩佐 信子

福林 弘子 特選

痛哭の民よ暖取る火はあるか

伊藤 昌子

浅生圭佑子 特選

渡邊 淳子

あつたかい人と暮らしてあたたかし

春吉

車 春吉

佳作

冬の虹火にのる菴缶に手をかざす

森本 昭子

前野 砥水 特選

冬の月女阿修羅になることも

森本 昭子

冬の月女阿修羅になることも

森本 昭子

冬の虹火にのる菴缶に手をかざす

森本 昭子

冬の月女阿修羅になることも

森本 昭子

第十五回 鈴木しづ子顕彰会

小中高生いのちの俳句大会 全国大学生俳句選手権大会

期 間	9月9日（土）午後1時より
会 場	犬山市民文化会館・大ホール
応 募	規定用紙又は原稿用紙
規 定	俳句三句、氏名、住所、電話
未 発 表	学校又は結社名、出席可否記載
作、類似二重投句は取消	
4月15日～7月15日迄送付	
いのちの俳句大賞、犬山市長賞	
他犬山市関連各種、中日新聞社	
東海現代俳句協会賞、他多数	
東海現代俳句協会会长、役員	
犬山市大羽黒字二日町57番	
鈴木しづ子顕彰会事務局	
宮地瑛子 宛	
Tel 0569-67-9325	



ライブ配信あり



メーリル ob@daigakuhaiaku.com

名古屋市中区丸の内3-16-29 4階
全国大学生俳句選手権大会事務局
TEL 052-951-3852
FAX 052-962-3256

◇計報

佐藤 寛一（三重県） 令和四年七月
伊藤ゆう子（三重県） 令和四年四月
吉田きみ子（三重県） 令和四年七月
中根 唯生（愛知県） 令和四年七月
令和四年十月

biglobe.ne.jp



会報第七六号に掲載の氏名等に間違い

があり、左記訂正しお詫び致します。

二頁下段 早川美千代 → 早川三千代

大田嘉代子 → 太田嘉代子
藤岡せい子 → 風岡せい子
吟行地／名和町 → 明和町
藤岡せい子 → 風岡せい子
早川美千代 → 早川三千代



俳句大賞受賞者 & 新年俳句大会会場

新たに七十歳未満を対象とした、東海現俳社青年部を新設し、毎偶数月第三土曜午後に句会を開催いたします。

第一回句会／4月15日（土）

十三時～十六時半／会費五百円

名古屋市公会堂第二集会室／鶴舞駅

当季雑詠三句／会員外可／ライン又は

メールで4月8日迄

有本仁政へ連絡下さい

〒484-0083

犬山市東古券563-2

Eitomasu@mvd.

令和5年度会計予算（案）& 4年度会計決算報告等

東海地区現代俳句協会

令和5年2月19日

（単位：円）

令和5年度会計予算（案）

東海地区現代俳句協会
令和5年1月1日
(単位：円)

令和4年度会計決算報告書

自 令和4年1月1日
至 令和4年12月31日

東海地区現代俳句協会
令和4年12月31日

収 入				支 出	
費 项	金 額	摘要	費 项	金 額	摘要
前年度繰越金	79,314		事業費		
助成金	550,000		資金	110,000	資金
特別会計より	300,000		贈委員謝礼		
			吟行句会	90,000	会場費
			会報発行	190,000	賞品代、贈経費 75号印刷、発送費 76号印刷、発送費
			総会・新年俳句	130,000	賞品他
			理事会	65,000	交通費、その他諸経費
			事務局	250,000	専従者年間分 通信費、会場費、印刷諸 経費
			総務局		
			総務局	3,000	振込手数料等
			予備費	91,314	
収入合計	929,314		支出合計	929,314	

（単位：円）	項目	予算	実績	増減額	摘要
	助成金	600,000	578,800	▲21,200	
	雑収入	0	2	2	預金利息
	前年度繰越	250,125	250,125	0	
合計		850,125	828,927	▲21,198	

（単位：円）	項目	予算	実績	増減額	摘要
	夏海俳句賞	100,000	100,979	979	夏海俳句賞
	吟行句会	90,000	67,036	▲22,964	吟行句会
	会報発行	170,000	184,588	14,588	会報発行、78号印刷化、譲り、通販用
	総会・新年俳句	100,000	124,000	24,000	総会・新年俳句大変 会報発行、会員登録料
	理事会	65,000	39,508	▲25,492	理事会
	事務局諸経費	230,000	230,000	0	事務局諸経費：65,000、運賃第一逆輸入 0、通販用料、会員登録料
	旅費	3,000	3,502	502	旅費：会員登録料、幹事会等
	予備費	92,125	0	▲92,125	
合計		850,125	749,613	▲100,512	

収入828,927 - 支出749,613 = 差引次年度繰越金79,314円

上記の決算報告書は適正に処理されている事を認める

令和5年1月19日

会計監査 今井真子

印

令和四年度事業報告	区分	内 容		会場	令和四年度総会及び 第二十六回新年俳句大会
		第十四回 東海地区現代俳句賞	吟行句会 犬山・鶴沼宿 岐阜担当		
その他	令和四年度新会員 登録	鈴木しづ子いのちの 俳句子ども大会 大学生選手権	青年部の取り組み	理事會	令和5年2月12日 13:00～16:00
	前年度総会後	9月3日 (土)	吟行会 7月2日 ジャズ句会 11月5日	11月10日(木) 午 後	5月15日(日) 8:30～16:30
	愛知 13人 三重 8人 岐阜 4人	犬山文化会館 オンライン配信	ウインクあいち	ウインクあいち	ウインクあいち
地区会報発行三月・六月の二回	岐阜	愛知	第十八回 現代俳句東海大会	11月30日(日) 午前中選考委員会	犬山フロイデ
	三重	大見 春江 宮地 琴子 八木 茂都子 平賀 節代	秀逸 城下町知りつくしたる夏燕 水音も葉隠れの音も五月かな くたと伏すからくり人形山車の底 石川美智子「冬の虹」 森本 昭子「風花の時間」	大見 賀子 山内 基成「蘇る」 太田香代子「母の匂ひ」 村松佐智子「秋の雨」 朴美 代子「百むくげ」 度会さち子「萬の向日葵」	久々の吟行会は天候に恵まれ六十名参加。犬山城下町の散策、長良川、鶴沼宿まで足を伸ばされた人も多くなったと伏すからくり人形山車の底。最高数会長と会長の委託する七名の選考委員で選考。詳細は会報に記載。
	田中裕子	愛知 青山典子 杏星恵忍 平井利果 水越晴子 高橋千典 大西可織	青年部初めての吟行会、桑名市にて三十五名参加 応募総数は九一六句 昨年を少し下回る。高校生の参加あり。大会参加者五十三名 吊ねはすぐ川風つかむ軒風鈴 ジャズ句会二十名参加・他県青年部参加あり オンライン句会、特別ゲスト(なつはづき、赤野四羽、神野紗希、黒石徳)を迎えて開催	佳作 講演 度会さち子「萬の向日葵」	九月末日までに寄せられた応募作品は三十八編と過去最高数会長と会長の委託する七名の選考委員で選考。詳細は会報に記載。
	富田志津子	大見春江 長野博明 荒井浩子 太田嘉代子 山内基成 伊藤季恵	小中高応募作品(協会役員が選考者を担当) 第五回大学生俳句選手権 神野紗希氏をゲストに三年ぶりに開催。	佳作 奨励賞 佳作 佳作 度会さち子「萬の向日葵」	久々の吟行会は天候に恵まれ六十名参加。犬山城下町の散策、長良川、鶴沼宿まで足を伸ばされた人も多くなったと伏すからくり人形山車の底。最高数会長と会長の委託する七名の選考委員で選考。詳細は会報に記載。

令和五年度事業計画案		区 分	日 時	会 場 所	内 容		
その他	令和五年度新会員	第十九回 現代俳句東海大会	吟 行 句 会				
会報発行三・六月	随时募集	第二十五回 東海地区現代俳句賞	第一回 現代俳句東海大会	10月 29日(日) PM1:00～ PM4:30 5月 21日(日) AM8:30～ PM4:00 懇親会	日 時		
	愛知六人 榎原美紀子 杉浦千尋 堀内なづき 道隆 磯村武司 小寺朋子	令和6年 2月18日 (日) PM1:00～	9月 9日(土) PM1:00～ PM2:00～5:00	吟行 6月 24日(土) ジャズ 11月 11日(土) オンライン句会 2回	11月 9日 AM11:00 PM 4:00 募集期間 総会終了後～ 10月 10日迄	ウインクあいち 懇親会場所未定 (会費の補助有り)	三重担当 いつきのみや 地域交流センター (近鉄斎宮駅 徒歩3分) 理事会開催
理事会	令和五年度新会員	第二十五回 東海地区現代俳句賞	第二十五回 東海地区現代俳句賞	10月 29日(日) PM1:00～ PM4:30 5月 21日(日) AM8:30～ PM4:00 懇親会	事前投句 二句一〇〇円 六月投句用紙送付 締切八月末日 何句でも応募可 ※会員外も参加可周りの人に勧めて下さい。高校 生にも引き続き呼びかける。 講演会 大西可繼氏（大杉谷自然学校校長）	当組団句(二句 参加費無料 会員外も参加可 (新しい人を誘いこ れを機に入会を勧めよう) 斎宮は整備がすみ、平安の建物も復元。雲雀、董、 タンポポと自然が一杯。博物館も。古代米の育つ 田園、斎王の禊の祓川と見どころ満載です。)	
	令和五年度新会員	第二十七回 全国大学生俳句選手権大会	第二十五回 東海地区現代俳句賞	未発表 十句・題をつけ事務局まで郵送 参考 加費無し・現代俳句協会員に限る	未発表 十句・題をつけ事務局まで郵送 参考 加費無し・現代俳句協会員に限る	未発表 十句・題をつけ事務局まで郵送 参考 加費無し・現代俳句協会員に限る	
	令和五年度新会員	第二十七回 全国大学生俳句選手権大会	第二十五回 東海地区現代俳句賞	住 所 〒五 六一〇〇三五 三重県伊勢市勢田町八五一六 平賀節代方	住 所 〒五 六一〇〇三五 三重県伊勢市勢田町八五一六 平賀節代方	住 所 〒五 六一〇〇三五 三重県伊勢市勢田町八五一六 平賀節代方	
	令和五年度新会員	第二十七回 全国大学生俳句選手権大会	第二十五回 東海地区現代俳句賞	賞金として俳句賞には三万円 佳作二千円進呈。ふるって応募して下さい。 尚、応募用紙には年齢と共に、仮名遣いの記載も お願ひします。	賞金として俳句賞には三万円 佳作二千円進呈。ふるって応募して下さい。 尚、応募用紙には年齢と共に、仮名遣いの記載も お願ひします。	賞金として俳句賞には三万円 佳作二千円進呈。ふるって応募して下さい。 尚、応募用紙には年齢と共に、仮名遣いの記載も お願ひします。	
	令和五年度新会員	第二十七回 全国大学生俳句選手権大会	第二十五回 東海地区現代俳句賞	東海地区現代俳句協会 東海地区現代俳句協会 東海地区現代俳句協会	東海地区現代俳句協会 東海地区現代俳句協会 東海地区現代俳句協会	東海地区現代俳句協会 東海地区現代俳句協会 東海地区現代俳句協会	
	令和五年度新会員	第二十七回 全国大学生俳句選手権大会	第二十五回 東海地区現代俳句賞	小中高生いのちの俳句大会・全国大学生俳句選手 権大会の選者をつどめる (いのちの俳句表彰を大学選手権の前に) 詳細は六頁記載	小中高生いのちの俳句大会・全国大学生俳句選手 権大会の選者をつどめる (いのちの俳句表彰を大学選手権の前に) 詳細は六頁記載	小中高生いのちの俳句大会・全国大学生俳句選手 権大会の選者をつどめる (いのちの俳句表彰を大学選手権の前に) 詳細は六頁記載	
	令和五年度新会員	第二十七回 全国大学生俳句選手権大会	第二十五回 東海地区現代俳句賞	本部の財團化に伴い、地区協会の活動は自由に何 をしても良い。会費納入から一人一千円地区に下 りるのは変わらない。地区独自の会員を設けるこ とができる。(業一千円) 高齢や財政的理由で辞め てゆく人を組織化。本部に入会者は、活動する地 域を選ぶ事ができる。役員の補充をする。	本部の財團化に伴い、地区協会の活動は自由に何 をしても良い。会費納入から一人一千円地区に下 りるのは変わらない。地区独自の会員を設けるこ とができる。(業一千円) 高齢や財政的理由で辞め てゆく人を組織化。本部に入会者は、活動する地 域を選ぶ事ができる。役員の補充をする。	本部の財團化に伴い、地区協会の活動は自由に何 をしても良い。会費納入から一人一千円地区に下 りるのは変わらない。地区独自の会員を設けるこ とができる。(業一千円) 高齢や財政的理由で辞め てゆく人を組織化。本部に入会者は、活動する地 域を選ぶ事ができる。役員の補充をする。	
	令和五年度新会員	第二十七回 全国大学生俳句選手権大会	第二十五回 東海地区現代俳句賞	に声かけ会員を増やす。 高齢の方を中心会員が減りました。一人が一人	に声かけ会員を増やす。 高齢の方を中心会員が減りました。一人が一人	に声かけ会員を増やす。 高齢の方を中心会員が減りました。一人が一人	

令和5年初夏の吟行句会ご案内

天照大神に仕えた代々斎王の 館跡にて開催

◇記

日 時 令和5年5月21日(日)

8時半～16時(自由散策・雨天決行)

場 所 三重県明和町「いつきのみや地域交流センター」

Tel 0596-63-5315

日 程 □受付 9時30分より

□投句締切 12時00分(時間厳守)

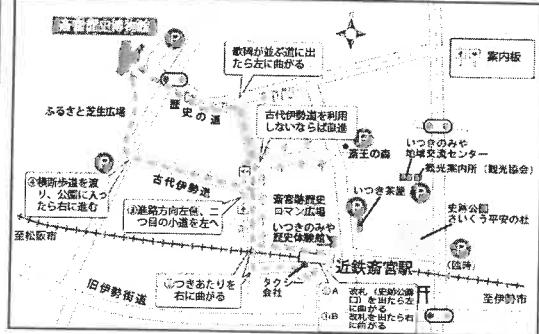
当日嘱目2句(投句用紙に楷書で記入)

□休息場所 斎宮駅近く「いつき茶屋」

軽食コーナーは小規模なので混雑します。持込みは出来ますが、近くにコンビニもありませんので弁当を予め手配して、茶屋か吟行会場又は屋外で召し上がる事をお勧めします。

□昼食終了後にて句会開始12時45分

交 通 松阪にて伊勢方面の近鉄各駅停車に乗換4駅10分
斎宮駅直ぐ(周辺に散在する斎宮跡史跡を巡る)



★斎宮は「いつきのみや」とも呼ばれる斎王の宮殿跡です。斎王は天皇に代わり伊勢神宮に仕える為、天皇の代替わり毎に皇族女性が選ばれ都から派遣されました。伝承時代には日本武尊に草薙の剣を授けた倭姫命が有名です。史実上は天武天皇670年頃から、後醍醐天皇まで660年間に60余人の斎王が記録されました。

東海地区現代俳句協会
岐阜県吟行会準備委員会

*申し込みは準備の都合上4月末までに下記へ連絡をお願いします。(会員以外も歓迎、参加費無料)

事務局 平賀節代 Tel & Fax 0596-25-6849
〒516-0035 伊勢市勢田町851-6

第二十五回東海地区現代俳句賞募る

現代俳句界に新風を吹き込み、東海地区

俳句活動の進展と充実を図るために、左の要領で作品を募集します。

応募作品 雜詠二十句(未発表に限る。受付後の作品変更は不可)

○B4縦書(紙サイズ厳守)

四〇〇字詰原稿用紙一枚使用

○一枚目「題名」「郵便番号・住所・電話番号・俳号(氏名)」

○二枚目一行目から作品を並記し、二十行目までに二十句収める。

※応募原稿は返却しない。

応募資格 東海地区現代俳句協会員

応募料 なし

締め切り 令和5年10月10日(火)

(当日消印有効)

送稿先 〒516-10035 三重県伊勢市勢田町八五一一六

東海地区現代俳句協会事務局

平賀節代方「東海地区現代俳句賞」と朱記のこと

Tel・Fax 0596-25-6849
E-mail Setu110@i3.enjoy.ne.jp

必記事項 年代別考の為、応募用紙に年齢と仮名遣いを忘れずに。

賞状および賞金三万円
・奨励賞・佳作若干名
・東海地区現俳句賞一名
・賞状賞金一〇〇・五万元

※定例総会席上にて授賞式
会長が委嘱する地区役員

東海地区現代俳句協会役員一覧

会長 後藤昌治 橋本輝久

副会長 中村正幸 武馬久仁裕

顧問 永井江美子 伊藤政美

事務局長 平賀節代

副会長 大西健司

理事 青年部長 小津由美

広報部長 前野砥水

青年部長 福林弘子

横地かをる 村山恭子

会計監査 今井真子

顧問 伊藤政美

副会長 永井江美子

理事 伊藤政美

副会長 永井江美子

理事 大西健司

副会長 中村正幸

会計監査 永井江美子

編集 前野砥水

印刷 名古屋市中村区猪之越町三一一五

発行者 ヨサ美印刷

三重県伊勢市勢田町八五一一六

平賀節代方

東海地区現代俳句協会会報 第七十七号

令和五年三月三十一日発行

前野砥水 江美子

三重県伊勢市勢田町八五一一六

平賀節代方